

浜岡原子力発電所1号機 原子炉建屋 2階 排水枡からの水の漏えいについて

2016年12月20日

発生場所	1号機（廃止措置中） 原子炉建屋 2階（放射線管理区域内）
発生年月日	2016年12月20日
状況	<p>2016年12月20日14時30分頃、協力会社社員が原子炉建屋2階の床にある4か所の排水枡から合計で約30リットルの水があふれて床に広がっていることを確認しました。連絡を受けた当社社員がただちに現場を確認し、原因調査、漏えい拡大防止措置および水の放射能分析を実施しました。</p> <p>現場の状況から床に広がった水は、空調設備を解体するために空調設備の冷却水を抜いていたところ排水管が詰まり排水枡から逆流したものと推定しています。現在、水抜きを中止し漏えいは止まっており、床に広がった水はふき取りをおこないました。漏えいした水は脱塩水（注）であり、放射能分析の結果からも放射性物質を含まない水であることを確認しています。</p>
今後の対応	今後、排水管が詰まった原因を調査し適切に対応をします。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。
<u>お知らせ基準</u>	<p>運転情報「表 1-2 管理区域内において、放射性物質を含む機器等からの水の漏洩を発見したとき。（但し、1リットル程度に至らない微少な漏洩を除く。）」に該当します。</p> <p>なお、漏えいした水が脱塩水等の放射性物質を含まない水であっても、放射性物質が付着した配管などとの接触により、放射性物質を含む水となる可能性がある場合は、放射性物質を内包する機器等からの漏えいが発生した場合と同じ対応をおこなうこととしています。</p>

（注）脱塩水は、新野川の伏流水を脱塩処理したものであり、放射性物質を含んでいません。



床に広がった水の様子

以上

<2017年9月29日追記>

続報はニューシアで公開しております。（ニューシアの当該ページは[こちら](#)）